

75A2

E&I 広帯域RFパワーアンプ



特徴

- デュアルチャンネル
- 300KHz ~35MHz
- 瞬時帯域幅
- 75W 1dB コンプレッション
- オールソリッドステート
- 空冷

クラスA 75W出力！

- 超音波
- 各種テスト
- 研究開発 等々
- 数々のアプリケーションに安心して使用できる、クラスAリニア広帯域RFパワーアンプです。

75A2広帯域RFパワーアンプは、極めて堅牢なRFアンプで、超音波、レーザー変調、RFI/EMIテスト、プラズマ装置や一般研究用、様々なフェイズドアレイアプリケーションとして適しています。

75A2はE&I社のポリシーでもある高品質、耐久性、堅牢性を備えた製品として作られています。

使いやすさ

75A2は、300KHz ~35MHzの各チャンネル全レンジにおいて75WのクラスAリニア出力を生成し、高調波歪やIMDは大変低く抑えられています。

全帯域をカバーする為のバンド切換はもとより調整等は一切必要なく、常に50dB (Typ)のゲインが得られ偏差は帯域内で±1.5dBです。

75A2は一般に使われているほとんどの信号発生器、周波数シンセサイザ、スイープジェネレータなどを信号源として使用す

ることができ、AM、FM、SSB、パルス、複雑な変調波に対しても優れた波形再現性を示します。

堅牢設計

75A2は13dbm (1Vrms)の入力やいかなる負荷VSWRにも耐えられるよう設計されています。

内部のスイッチング電源は、広いACライン条件に対しても安定した動作が得られるよう余裕をもった定格になっており、強制空冷は長期間信頼性が得られるよう内部温度を低く抑えます。

RF出力は丈夫なDMoS FETを採用し、更に余裕を持った設計により負担軽減を行い長時間MTBFを得ています。

動作クラス

クラスA

周波数レンジ

300 KHz ~ 75 MHz

定格出力

75 W (P1db) / 各チャンネル

飽和出力

300KHz~75 MHz > 100W (各チャンネル)

ゲイン

50 dB (nominal)

ゲイン偏差

+/- 1.5 dB

定格出力を得る為の入力値

1 mW

入カインピーダンス / VSWR

50 Ω / 1.5:1 max

出カインピーダンス / VSWR

50 Ω / 1.25:1 max

高調波レベル

< -25 dBc

耐久性

∞ : 1 VSWR

安定度

いかなる受動負荷に対しても無条件安定

保護

入力: 最大+13 dBm (1.0 V rms) までの過入力とVSWR無限大の負荷に耐える

フロントパネル

2つのディスプレイが、200W/50Ωまでを表示

それぞれのチャンネルの進行波と反射波を同時に表示

3次インターセプトポイント

IP3: + 57 dBm

AC入力電圧範囲

85 ~ 264 VAC 47 ~ 63 Hz

動作時環境温度

0 ~ 40°C

冷却

強制空冷

質量

45 lbs (16 Kg)

サイズ

132.1mm(H) X 419.2mm(W) X 459.7mm(D)



Electronics and Innovations, Ltd.

150 Research Blvd.

Rochester, NY 14623

Tel: (585) 214 0598

Fax: (585) 214 0580

<http://www.eandilt.com/>

日本総代理店:

アロニクス株式会社

〒144-0033

東京都大田区東糀谷6-4-17

OTAテクノCORE305

TEL:03-5737-8333 FAX:03-5737-8334

Website: <http://www.alonics.co.jp>

E-mail: info@alonics.co.jp